

小学校	
教材・領域	理科
授業タイトル	「夜空を見よう」
対象学年	4年生
実施場所	教室かコンピュータ室

プロジェクターで教科書の36～37ページを投影
(夏の大3角形が出ているページ)

指示1 ノートに教科書36～37ページを見て「気がついたこと、分かったこと、思ったこと」を書きなさい。

子どもたちのは発表

発問1 写真の中で一番、明るい星はどれですか。

中国の神話(七夕について)

指示2 七夕のお話知っている人。みんなに説明できる人。

説明1 この「おりひめ星」は別の名前で「ベガ」といいます。

そして、このように線で結ぶと何かの形に見えませんか。

これがギリシャという国にも言い伝えからできました。

こんな言い伝えです。

説明2 この星は「デネブ」と言います。星座は「はくちょう座。」
ギリシャ神話では・・・。

説明3 この星は何という星でしたか。彦星ですね。別の名前では「アルタイル」と言います。
星座は「わし座。」
ギリシャ神話では・・・自分で調べて下さいね。少しだけ・・・。

指示3 教科書を読みます。

指示4 ノートに「夏の大三角」を書きます。黒板をうつします。

指示5 教科書38ページ。読みます。

説明4 今日は特別に7月7日午後9時の和泉市の夜空を見せて上げましょう。

方角は・・・。

プロジェクターで「星ぞらはかせ」を立ち上げる。

設定 ①光害あり→なし

②星の名前

③星座の線

④星座の絵

⑤東の空を動かす。

⑥南の空を動かす。

⑦西の空を動かす。

発問2 星の動きは何かの動きとてていますか。

活用するIT パソコン、プロジェクター、スクリーン(電子黒板)、天体ソフト